

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(3) 留意事項(養護教諭)
養護教諭にかかる必要な事項(専門領域)については、下記の通り定めることとする。

ステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
資質能力にかかわる項目	養護教諭として求められる知識や技能を身に付けている	基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
		実践力を磨き、基礎・基盤を固める	知識や経験に基づいた実践力を高める	中堅教員として高度な実践を展開し、若手教員の指導を行う	豊富な経験と高い専門性を持ち、高度な実践力を展開するとともに、指導力を発揮し、学校の中心的な役割を担う	
特定の職に必要な事項(専門領域)	保健管理	○学校保健安全法を理解し、児童生徒の実態把握の必要性を理解している。	○児童生徒の発達段階に応じてよく見られる心身の疾病や障がい理解するとともに健康課題を把握し、適切に対応できる。	○児童生徒の発達段階に応じてよく見られる心身の疾病や障がい理解するとともに、健康課題を把握し、教職員等を支援して適切な対応ができる。	○保健管理について指導的立場を果たすとともに、保健情報を総合的に評価し、把握した健康課題の解決に向けて、組織的対応ができる。	○学校における事件事故・災害に備えた救急体制や心のケアの支援体制を整えるなど、保健安全について学校運営に参画することができる。
	保健教育	○学習指導要領を理解し、保健教育の専門性を有している。	○保健教育における養護教諭の役割を理解した上で、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育ができる。	○児童生徒の実態に基づいた保健教育を実践、評価、改善し、効果的に推進できる。	○保健教育について、実践、評価をとおり、全体計画を作成し、効果的に推進できる。	○保健教育について、他の教職員や保護者等に対し、指導的な役割を果たすことができる。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解している。	○学校保健目標を理解し、保健室の機能を生かした経営計画を作成し、計画に基づいて実践できる。	○保健室経営計画に基づいて、適切な保健室経営を行うことができる。	○学校目標の実現に向け、保健室経営計画に基づいて実践、評価、改善し、より効果的な保健室経営を行うことができる。	○学校運営に参画し、効果的に保健室経営を推進するために、他の教職員に対し、指導的立場を果たすことができる。
	健康相談	○健康相談の意義を理解し、心身の発達段階における健康課題を理解している。 ○カウンセリングマインドを持って児童生徒の相談を受けることができる。	○健康相談の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の発達段階における課題や現代的な健康課題を踏まえた健康相談を実施することができる。 ○カウンセリングマインドを持って対応できる。	○児童生徒の健康課題を的確に捉え、学校医等の専門職や保護者との連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。 ○カウンセリングマインドを持って個に配慮し、他の教職員と協働して適切な対応ができる。	○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めるとともに、学校医等の専門職や保護者と連携し、健康課題について効果的な対応ができる。 ○カウンセリングマインドを持って個に配慮し、他の教職員を支援して適切な対応ができる。	○心身の健康課題に関して教職員等に対し、指導的役割を果たすことができる。 ○カウンセリングマインドを持って個に配慮し、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。
	保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	○校内外の保健組織(学校保健委員会・児童生徒保健委員会・PTA保健委員会等)の企画、運営に参画できる。	○保健組織が主体的に活動できるように工夫、改善を図ることができる。	○近隣の学校と連携し、地域レベルでの健康づくりを推進することができる。	○健康づくりの推進に向けて、他の教職員や保護者、関係機関等に対し、指導的役割を果たすことができる。

(4) 留意事項(栄養教諭)
栄養教諭にかかる必要な事項(専門領域)については、下記の通り定めることとする。

ステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ		
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降		
資質能力にかかわる項目	栄養教諭として求められる知識や技能を身に付けている	基礎形成期	伸長期	充実期	発展期		
		実践力を磨き、基礎・基盤を固める	知識や経験に基づいた実践力を高める	中堅教員として高度な実践を展開し、若手教員の指導を行う	豊富な経験と高い専門性を持ち、高度な実践力を展開するとともに、指導力を発揮し、学校の中心的な役割を担う		
特定の職に必要な事項(専門領域)	給食管理	栄養管理(献立作成)	○学校給食摂取基準に基づき栄養管理ができ、食品構成を考慮した献立を作成することができる。 ○魅力あるおいしい給食の調理と配食量について、指導・助言ができる。	○郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら、献立を作成することができる。 ○食事状況調査、嗜好調査、残食量調査等の結果を踏まえた献立を作成することができる。	○郷土食、地場産物を積極的に取り入れ、各教科等の食に関する指導と意図的に関連させながら、献立を作成することができる。 ○児童生徒の体格及び活動レベルを考慮し、地域の実情等に合わせた栄養管理を行い、評価・改善ができる。	○児童生徒の体格及び活動レベルに応じた栄養管理や献立作成に関し、適切な指導や助言を行うことができる。 ○市町の栄養管理や献立作成及び運営に関し、中心的な役割を果たすことができる。	
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する専門的な知識・技能を有している。	○学校給食衛生管理基準を理解し、施設設備の実態に応じた衛生管理ができる。	○学校給食衛生管理基準の理解を深め、調理従事者、施設設備及び食品の衛生に関して、日常管理及び適切な指導・助言ができる。	○衛生管理を食に関する指導と一体化した観点から評価・改善し、食に関する指導に生かすための情報等を全教職員に対して購入にあたって適切に管理することができる。 ○市町の衛生管理や物資管理及び運営に関し、中心的な役割を果たすことができる。	
	食に関する指導	給食の時間の指導	○学級担任等と連携して給食の指導を行うことができる。	○学級担任等と連携した指導を行うことができる。 ○学級担任等が活用できる資料の提供や助言を行うことができる。	○学級担任等と連携し、発達段階に応じた指導を行うことができる。 ○教科等との関連を考慮し、学級担任等が継続した指導につなげるための支援や指導計画作成に参画できる。	○学級担任等と連携し、発達段階に応じた適切な指導を行うことができる。 ○献立計画を活用し、学級担任等が計画的に継続した指導をするための支援や指導計画作成に参画できる。	○組織の中で中心的な立場で参画することができる。 ○献立計画を踏まえ、学級担任等が継続的・効果的に指導をするための指導・助言ができる。
		教科等における指導	○学習指導要領を理解し、食に関する指導ができる。 ○コーディネーターとしての役割を理解している。	○学習指導要領を理解し、栄養教諭の専門性を生かした指導・連携ができる。 ○児童生徒の実態や学校教育の全体計画を作成することができる。	○学校の特色を生かし、家庭・地域と連携した食に関する指導を推進することができる。 ○栄養教諭の専門性を生かし、コーディネーターとしての役割を果たすことができる。	○学校の特色を生かし、積極的に家庭・地域と連携した食に関する指導を推進することができる。 ○食に関する指導を効果的に進めるため、栄養教諭の専門性を生かし、コーディネーターとしての役割を果たすことができる。	○地域において、小中学校の一体的な食に関する指導を推進するために、連携・調整を行うとともに、指導・助言ができる。
		個別的な相談指導	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の食に関する相談を受けることができる。	○児童生徒の食に関する健康課題を把握し、学級担任や養護教諭等と連携し、保護者に対する指導・助言を行うことができる。	○専門知識に関する最新の情報を収集し、教職員に対する情報提供や助言を行うことができる。	○関係機関や専門機関と連携を図り、指導及び支援を行うことができる。	○児童生徒の状況を総合的に評価・判定し、関係機関や専門機関と連携を図り、指導及び支援を行うことができる。